

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	神楽尾公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北764番地5 名称 株式会社ガット 代表者 代表取締役 美甘信吉
(3) 公の施設の所管部署	津山市 都市建設部 公園緑地課
(4) 指定期間	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	公園入園者数 60,128 人 (前年度 57,548 人) ゴーカート利用者数人回 10,194 人回 (前年度 9,531 人回) 管理棟研修室利用者 5 回 述べ 106 人 (前年度 12 回) 野外調理施設利用者数 1,338 人 (前年度 1,494 人)
(2) 事業の内容	4月・・・神楽尾公園さくらまつり 4輪ペダルカーデビュー 春の交通安全教室 (総社保育園) 5月・・・端午の節句イベント、鯉のぼり展示、柏餅配布 6月・・・竹筒ごはんでカレーを食べよう 7月・・・七夕そうめん流し 8月・・・タイル de コースターづくり 9月・・・秋の交通安全教室 (KOKKO 保育園) 10月・・・AUTUMN FES 開催 11月・・・ハーバリウム体験 1月・・・新春祭 2月・・・雛人形展示 3月・・・新バッテリーカーデビュー

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	8,829 千円	(前年度 8,772 千円)
	利用料金収入	1,358 千円	
	指定管理料	7,200 千円	
	自主事業収入	34 千円	
	その他の収入	237 千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	8,660 千円	(前年度 8,745 千円)
	主な支出		
	人件費	5,476 千円	
	事務費	708 千円	
	管理費	2,256 千円	
	自主事業	220 千円	

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	<p>利用者アンケート調査について、平成 29 年 10 月 5 日から平成 30 年 1 月 31 日までの期間で、アンケート調査を実施。約 50 件の回答を頂きました。公園利用者年代別に 30 代が最も多く、次いで 40 代、20 代の方など広く利用を頂いています。今回は特に 30 代のお子様連れのからの回答を多く頂きました。地域別の利用割合も津山市内が大多数で、地域に密着した施設という印象です。少数ですが津山市外や県外からいらっしゃった方もいました。「帰省時に寄った」、「ゴーカートがあると聞いて立ち寄ってみた」、「ホームページを見て来た」、「イベント（ハーバリウム）の開催を知り参加するために初めて神楽尾公園に来た」などの意見も頂戴しました。団体別の割合では家族での利用が最も多く、過半数を占める割合で、家族で楽しめる公園という印象を維持しています。公園の印象についてのアンケートでは、清掃面、安全面、職員の対応など大多数から「良い」という評価を頂戴しました。特に職員の対応には多くの方から良いと評価頂いています。次回の公園利用についてもアンケートをお願いし、すべての方から「次回も利用したい」という結果を頂き、これからも長く利用して頂ける公園づくりに力を入れていきたいと思えます。平成 29 年度の自主事業参加履歴を回答頂き、平成 28 年度も実施した「そうめん流し」「新春祭（お餅つき）」など、恒例化したイベントは好評を頂いております。また去年参加した人からイベントを聞いて、今年は参加したいと思って来ました、等口コミによる参加者もいました。平成 30 年度も同じ「そうめん流し」等を計画しておりますが、新たな利用者呼び込めるようほかにも魅力的なイベントを計画し、より楽しんで頂ける様、最善を尽くしたいと思えます。</p> <p>また、園内の清掃・整備・美化に引き続き取り組み、来園される皆様様に気持ちよく過ごして頂けるように日々の業務に努めてまいります。</p>
-----------------	--

(2) 指定管理者の自己評価

入園者数は新入園者数計算方式を用い、60,128人となり、前年対比104% (2,580人増)、前年度入園者数は57,548人。全体的に天候に恵まれ、月別で比較すると前年並みあるいは前年以上の月が大半を占めました。10月は台風第21、22号や秋雨前線、低気圧の影響で、月降水量がかなり多く前年以下の利用者数となりました。

対して、従来計算方式用いた場合、自販機利用者数は減少し、平成29年度は27,980人となり、前年対比95%と、利用者減少の結果となりました。

快適な公園を目指し、剪定、草刈、除草に取り組みました。夜間における野外施設無断利用者による私有地への生ごみ等の不法投棄については、地域住民からの要望もあり、警察によるパトロールの強化を実施しています。年度事業計画に対しては、利用者人数は減少しましたが、公園管理、自主事業等は、計画通りに実施する事ができました。

収益について、積極的な広報活動やふた月に1回を目標としたイベント開催の他、自主事業で継続して運営している電動カーの認知度も上がり、ゴーカート売上は前年度を超え、過去2番目の成績となりました。支出面では、花見シーズンやGWといった繁忙期の安全を考慮した警備費用、また設備老朽化に対して修繕・補修の必要が多々あったため、部品等消耗品の出費が目立ちました。

支出について、職員での作業割合を増やし更に外注費を削りました。また、通信費は月額料金プランを見直し固定費の削減をし、僅かずつではありますが各科目の経費削減により支出総額の減少に繋がりました。

収支結果について、平成28年度に続き平成29年度も黒字を伸ばすことができました。今後は、現在の収支を如何に維持・増加させていくことで、黒字増加を目指していきたいと思っております。平成30年度も継続した収益向上を目標に尽力します。

事業計画にあるイベントを実施し、年間を通して恒例となったイベント、また新しいイベントをすることが出来ました。例年行ってきたウォーキングなどを新たなイベントに替えたところ、若い世代の家族連れに評判が良かったです。今後も神楽尾公園らしい体験型のイベントを企画し幅広い年代の方に楽しんでいただきたいと思います。

4月にデビューした四輪ペダルカーは大人気で、新しいものの導入により来園者へのサービス向上が図れていると思っております。三輪ゴーカートは認知度も上がり、好評を頂いていましたが5月に部品が故障し利用停止となりました。利用停止期間も、「三輪に乗りたい」といったお声を頂いていました。しかし、修繕を試みましたが安全に運行できるまでに至らず運用中止になりました。3月には従来の電動カーを一新し、親子で乗れる電動カーを導入し好評を頂いております。今後も安心、安全を最重点に利用者の方に喜ばれる施設づくりに尽力します。

<p>(3) 市の評価</p>	<ul style="list-style-type: none">・事業計画に基づき管理運営業務は着実に実施されている。・収支計画は事業計画と整合しており、経費の削減に努め、効率的な運営が実施されている。・職員の適切な人員配置や育成がなされ、日常の事故防止・安全対策が実施され、緊急時の連絡体制、役割分担制が整っている。・周辺地域住民の要望に応え、良好な関係に努めている。・入園者数・ゴーカート利用者・利用料収入とも増加傾向となっており、施設の利用を促進させるため、自主事業の開催内容等について、雑誌への掲載・HP・SNSの作成・パンフレットやチラシの作成を行うなど誘客に努めている。
-----------------	---